



# 学 び 舎

門川中学校 学校便り  
令和8年2月27日 No.11  
文責：校長 永 富 雅 樹

## 参観日の実施

2月6日に今年度最後の参観日が実施され、2年生は、学級立志式を行いました。立志式とは、古来の成人式「元服(14~15歳頃)」にちなみ、現代の中学2年生(14歳)が将来の目標や決意を表明し、大人への自覚を養う行事です。そこで、2年生は、大人になる自覚を深めるために、その思いを漢字一文字に込めて発表しました。

1、3年生は、教科の授業を参観してもらいました。3年生にとっては、中学校生活最後の授業参観となり、授業に向き合う姿からは、受験生としての自覚や進路実現に向ける意気込みが感じられました。

その後の学級懇談では、各学級で1年間の振り返りを行っていました。学習面や生活面において成長している部分がある一方で、課題も多くあるようです。1年生は、その後10日から参観週間を実施したところです。家庭と学校の連携をさらに高めて、子どもたちの成長につなげていきたいと考えています。



また、今月10、12日には期末テストが実施され、それぞれの学年とも学習の習得を確認できたと思います。3年生は、入試の結果も出ており、1、2年生も含めて、進路実現のためにも、改めて学力をつけておく必要があると感じています。



## あいさつ運動の実施

1月26日から1週間、朝の登校時間に各学級のプログラム委員があいさつ運動を実施しました。1月下旬から寒くなってきた中でしたが、元気よく実施してくれました。

あいさつについては、これまでも生徒会で取組が見られましたし、地域の方々からも意見をもらいます。あいさつがコミュニケーションの窓口であるとともに、会話が広がるきっかけとなるようなあいさつを心掛け、身に付けておいて欲しいものです。



## 携帯電話・スマホなどについてのアンケート結果

10月に県内の小中学生に携帯電話・スマホ等に関するアンケートが実施され、県の結果が送付されてきました。本校の生徒のアンケートで気になる結果となりました。

携帯電話やスマホ、タブレット、ゲーム機、パソコンなどの1日の使用時間について、平日3時間以上の生徒が**42%**(県:30%)となり、県内より10%以上多くなっています。休日においては、3時間以上と答えた生徒が**67%**(県:59%)、5時間以上の生徒も**32%**(県:25%)となっています。

家でスマホなどの使い方について何かルールがある生徒は、39%(県:49%)で、ルールのあると答えた割合が低い学年は、使用時間も長くなっています。

長時間使用による睡眠不足、視力低下(近視・ドライアイ)、運動不足による身体的発育への悪影響に加え、思考力・記憶力をつかさどる脳の機能低下や学力低下を招くと指摘されています。家庭で使用時間などルールの確認してもらいたいと思います。



## 音声メッセージの導入

今月18日から、町教育委員会の対応により夕方以降の学校への電話対応について、音声メッセージに切り替わるようになりました。詳しくは、安心メールで送付していますが、休日及び平日の午後5時から午前7時30分までは音声メッセージとなります。法律改正があり、教職員の勤務時間について、

1か月の勤務時間外の在校時間について、45時間以内を100%とするようなど国からの指針が出ております。今後部活動や下校時の対応等で地域や保護者に協力をいただくことになるかと思っておりますので、御理解をよろしくお願いいたします。

